

「ポンテオ・ピラトのもとに」 一人の罪深さはここまで

『使徒信条』

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、

死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人の内よりよみがえり、

天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。

かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、

からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

1. 「あなたはユダヤ人の王なのか」

2. 「罪は何も見つからなかった」

3. 「私には責任がない」

分かち合いのための質問

- 1)ピラトの一つ一つの言葉や行動の背後にはどんな罪深さが隠されていますか？
- 2)それらの罪深さは、あなたのうちにもあるものですか？今葛藤している罪はありますか？
- 3)使徒信条をもって私たちの信仰を告白しましょう！